

開発協力大綱の改定に関する意見交換会（オンライン）

令和5年5月

4月26日、開発協力大綱の改定に関する意見交換会がオンラインで開催されたところ、主な意見の概要は以下のとおり（カッコ書きは当省及びJICAからの説明のポイント）。

【大綱全体について】

- 開発協力分野では基本法等の法律がなく、大綱においてアカウントビリティが求められる。これまでの改定では公聴会が実施されていたが、今回の意見交換会との違い如何。意見交換会で提示された意見は、大綱本文にどこまで加筆・修正されるのか。

（公聴会と意見交換会の扱いは同じである。意見交換会での意見を踏まえながら、改定作業を進めていく。）

- 政府案では「対話」と「共創」の価値観が掲げられており、非常に良い。他方、このプロジェクトではどの価値が優先される等、価値を判断できるようなフレームワーク、事前評価ができる枠組みが運用面で変わらない限り具現化が難しいと考える。

（開発途上国のガバナンスの体制、歴史、文化等、異なる背景のある方々と共に創るプロセスにおいて、何を重要視していくか、目線を合わせた上でPDCAに至る考え方を合わせることは、簡単ではない。ご指摘のとおり、開発協力の現場において、全ての価値観を一度に実現することは難しいと実感している。「対話」を通じ理想を高く持ちながらも、目線を合わせ実施していくことは非常に重要であると認識している。）

【非軍事関連】

- 評価の在り方について、政策研究大学院大学の野野先生の評価には軍事的協力、非軍事的協力の部分に関して記述がない。外務省より別途実施されている開発協力適正会議で報告していると以前言及があったが、自分も適正会議のメンバーであったものの、正しい詳細な評価がなされていない印象がある。評価方法や基準の策定が難しいと思料するが、今後の非軍事関連の評価方針について教えていただきたい。
- 非軍事的原則については、PDCAのうちAのアクションの部分が最も重要。結

果の報告のみでなく、今後の改善方針を明確にしていきたい。

(開発協力適正会議における対象となる案件の概要等については外務省HPに掲載しており、ご覧いただけるようになっている。政府として説明責任を十分に担保していくため、評価対象を何にすべきか、ご指摘を踏まえながら検討していきたい。評価方法も変化してきていると認識しており、データ分析等を含めた新たな要素を取り入れた評価制度やPDCAの回し方について、検討し進めていきたい。)

- 政府安全保障能力強化支援 (OSA) が創設されたが、仕組みやODAとの関係について教えていただきたい。
- OSAを創設するのであればODAは明確に非軍事的協力にする等、明確に区別していくべき。

(OSAは同志国の安全保障上の能力、抑止力の強化等を目的としており、開発途上国を対象とした経済社会開発が目的となっているODAとは別の新たな枠組みである。どちらの制度においても、相手国の個別の事情を踏まえ、適正性を一件ずつ確認しながら実施していくことが重要だと考えている。)

【実施原則・実施状況について】

- 開発協力の適正確保のための実施原則に関して、案文では「以下の原則を常に踏まえた上で」という文言になっているが、「普遍的に適用し、相手国に遵守されていることを確認した上で」という文言に変えていただきたい。
- フィリピンの例のように人権侵害を起こしている組織に対して支援を継続することは、人権侵害を助長させる恐れがある。
- 開発協力案件実施後の出口戦略をしっかりと検討していただきたい。また供与後の機材メンテナンスも非常に重要で、特に途上国では維持メンテナンスの関心が低いため、日本がしっかりと対応していくべき。

(事前の調査をし、関係者で目線を合わせ、事業後のフォローアップをしっかりと行うことは非常に重要。御意見を踏まえ、検討していきたい。)

【自由で開かれたインド太平洋 (FOIP) について】

- FOIP について、大綱の中でもう少し強く打ち出していくべき。
(FOIP については様々なご意見があるが、今回の大綱については開発協力の部分を強く打ち出していく方針である。)

【その他の御意見】

- 教育分野の支援手法について、支援の効率化と日本の顔が見える支援、双方大切であると承知している。教育分野では、世界銀行主導のグローバルパートナーシップや多国間協力の資金プラットフォーム等が増加している中、日本の拠出額は少ない現状だが、支援の効率化のための多国間援助へのコミットメントと日本の顔が見える支援の両立について、見解をお伺いしたい。

(国際機関を通じた支援が最適である場合もあるが、国際機関を通じた支援において日本の顔がどこまで見えるのかという点は、非常に悩ましく難しい問題であると認識している。教育分野の多国間協力において、日本の拠出が少ないというご指摘は様々なところからいただいております、ご指摘の点は非常に重要である。日本の顔が見えなければ国民の支持が得られない等の問題もあるが、国際機関を通じた援助も大事であり、双方を上手く活用していく必要があると考えている。)